

事業番号	事務事業名	間伐促進等特別対策事業費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03910	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	森林法 鏡野町林業振興促進対策補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	森林施業の効率化を図り、活発な協業活動を推進するため、除伐及び間伐、枝打ち実施者に対して補助金を支出する	岡山県の実施する緊急間伐3ヵ年対策により開始(町上乗せを前提として岡山県が補助を行う)

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内人工林	ア 町内人工林面積	ha	見込 実績	26,000 22,341	26,000 21,701	21,701 21,633	21,633	21,633
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 優良な人工林を形成する	ア 間伐実績面積	ha	目標 実績 達成率	650 457 70.3%	650 370 56.9%	700 274 39.1%	400	425 64.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 間伐等の実施	ア 補助対象施業実施面積	ha	目標 実績 達成率	275 200 72.7%	275 230 83.6%	275 140 50.9%	190	190 73.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 02 林業費	目 02 林業振興費	大事業 中事業	20 01	予算上の事業名	事業番号							
							間伐促進等特別対策事業費	03910							
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	7,670	8,507	8,900	8,500	8,500	393	一般財源	7,655	7,695	5,334	8,500	8,500	-2,361		
合計	7,670	8,507	8,900	8,500	8,500	393	合計(A)	7,655	7,695	5,334	8,500	8,500	-2,361		
財源名称	従事正職員人数						2	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						35	35	35	35	35				
	人件費計(千円)(B)						118	123	117	117	117		-5		
最終予算額		8,900 千円	予算執行率	59.9%	トータルコスト(A+B)		7,773	7,818	5,451	8,617	8,617	-2,366			
主な支出事業内容(予算)	補助金						8,900 千円	主な支出事業内容(決算)	補助金						5,334 千円

事業番号	03910	事務事業名	間伐促進等特別対策事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
搬出間伐が施業の中心であり、主伐も増えつつあるが、再生林が進んでいない。台風被害跡地の保育施業は少なくなりつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成29年度に除伐枝打の補助を追加。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
他の自治体と比べ手厚い補助であるとの意見が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	本事業により、山主の負担が減り、森林施業の実施が促進されている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	木材価格の低迷により、森林整備意欲が希薄となる中で、森林の公益的機能の発揮のためには、町の関与が必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	施業量の上限が労務により決まってしまうため、林業従事者が増加すれば、施業量も増加する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	廃止した場合、施業意欲の低下につながる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	最小限の事務のため、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助単価を下げると、森林整備意欲の低下につながるため削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最低限の補助金申請事務であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内人工林を対象としており、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	山主の森林整備意欲を喚起することにつながっており、森林の公益的機能の発揮のためにも継続する必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 市場の動向を注視しながら、施業意欲を阻害する要因を取り除く必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								